

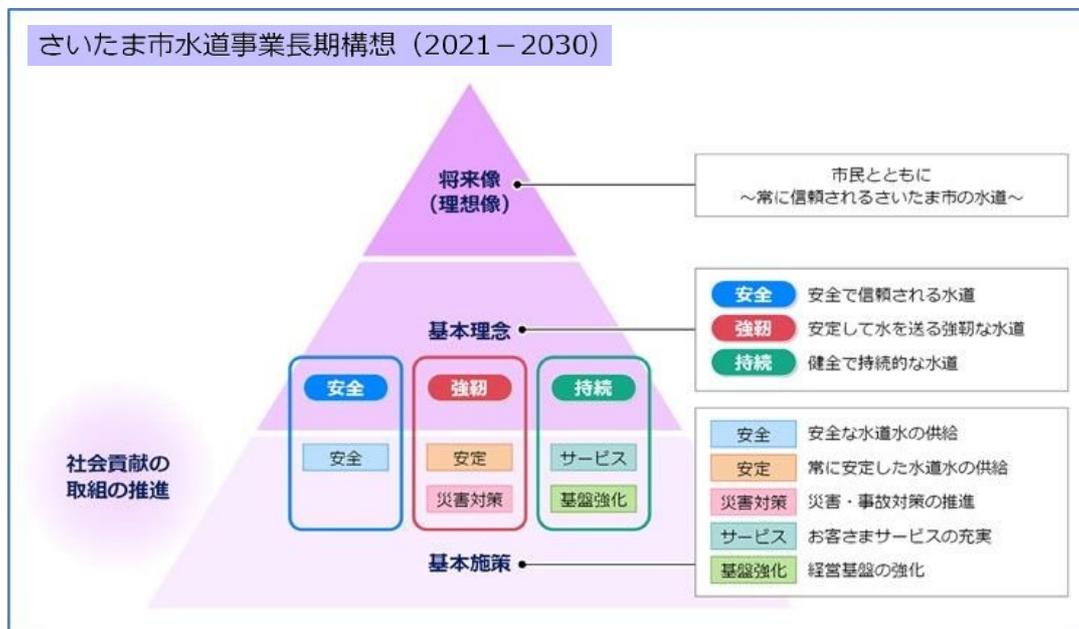
# 水道局 令和5年度 局運営方針（案）

## 1. 主な現状と課題

現在、本市の人口は増加傾向にありますが、将来的には減少に転じ、あわせて給水人口や給水収益も減少していくと推測されます。

一方で、浄水場、配水場や管路の老朽化が進み、その更新需要は更に増加していく見込みです。また、災害時においても安定した給水を行うため、耐震化対策を推進する必要がある、これらを計画的に進めていくことが課題となっています。

水道局では、このような環境の変化や脱炭素などの重要な課題に対応するため、「さいたま市水道事業長期構想（2021－2030）」（令和3年3月策定）の下、財政とバランスの取れた施設整備やデジタル化の推進などを通じ、効率的かつ効果的に事業を運営していく必要があります。



### （1）水道施設の再構築の推進

安全・安心な水道水を安定して供給していくため、将来の水需要の減少を踏まえた、水道施設の効率的な配置や適切な施設能力・規模への計画的な改良・更新を進めるとともに、地震等の災害に対しても信頼性の高い強靱な水道施設の再構築を推進する必要があります。



老朽管更新工事



北部配水場更新工事

## 2. 基本方針・区分別主要事業

財政とバランスの取れた水道施設の計画的な改良・更新を進め、安全で強靱かつ持続的な水道の構築を目指します。

### (1) 水道施設の再構築の推進

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和5年度	令和4年度	説明	概要掲載ページ
1	総振	水道施設整備事業 〔水道計画課〕	14,288,046	12,404,296	水道施設の改良更新、耐震化等の整備を計画的に進めます。	Ⅱ-568

会計名 水道事業会計		予算額	51,517,315																				
局/部/課	水道局/業務部/水道財務課																						
予算書	水道事業会計予算書																						
<事業の目的・内容> 市民生活を支えるため、安全で良質な水道水を安定して供給するとともに、地震等の災害や濁水にも強い、たくましい水道をつくっていきます。 また、健全経営の下、効率的な施設運営や利用者の視点に立った質の高いサービスを提供します。																							
		前年度予算額	49,128,582																				
		増減	2,388,733																				
<主な事業> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">【収入】</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">【支出】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <b>[1款：水道事業収益]</b> 33,743,673                 <b>1 営業収益</b> 32,285,376                 <b>(1) 給水収益</b> 29,490,490                水道料金収入です。                [参考] 水道料金収入の推移 (税抜)               <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <tr><td>令和元年度決算額</td><td>26,798,808,987円</td></tr> <tr><td>令和2年度決算額</td><td>26,952,652,074円</td></tr> <tr><td>令和3年度決算額</td><td>27,105,390,356円</td></tr> <tr><td>令和4年度当初予算額</td><td>27,202,905,000円</td></tr> <tr><td>令和5年度当初予算額</td><td>26,809,537,000円</td></tr> </table> </td> <td> <b>[1款：水道事業費用]</b> 29,392,148                 <b>1 営業費用</b> 28,751,426                 <b>(1) 水源費</b> 9,386,265                受水費 8,440,373                埼玉県からの受水に係る費用です。                 <b>(2) 配給水費</b> 11,073,466                 <b>ア 社会福祉就労支援事業</b> 12,446                検定有効期限を過ぎた水道メーターを再利用可能な部分と廃棄する部分とに分解する作業を授産施設に委託する事業です。                 <b>イ 小中学校飲用水直結化推進事業</b> 208,645                蛇口から直接水を飲むという文化を継承するため、一部の給水方式を直結式に切り替える事業です。                 <b>ウ 配給水管修繕事業</b> 1,436,220                迅速かつ円滑に漏水修繕を行うことにより、安定した水道水の供給を図る事業です。                 <b>(3) 業務費</b> 2,436,355                計量事業(DX関連) 12,457                スマートメーターを試験的に導入します。                 <b>(4) 総係費</b> 1,806,121                 <b>ア 国際協力推進事業</b> 7,371                水道局で培った経験や技術力を海外で生かすため、ラオスへの技術支援を行う事業です。                [総振：01-3-1-04]                 <b>イ 震災対策事業</b> 76,028                災害時に迅速かつ円滑な応急給水、応急復旧ができるよう対策を講じ、また、職員訓練等を実施する事業です。                 <b>ウ 水道局システム管理事業(DX関連)</b> 4,338                会計伝票の電子化を推進します。                 <b>2 営業外費用</b> 619,009                 <b>(1) 企業債利息</b> 615,154                企業債の利息の支払に係る費用です。             </td> </tr> <tr> <td> <b>(2) その他営業収益</b> 2,700,623                 <b>ア 配給水管維持管理等負担金</b> 456,724                下水道などの他事業が地下埋設物を設置する際、支障となる水道管を移設させる場合等に受けるものです。                 <b>イ 下水道使用料同時徴収事務負担金</b> 1,033,167                サービス向上のため実施している上下水道料金一括徴収の経費のうち、下水道使用料部分の負担金です。                 <b>ウ 分担金</b> 1,111,759                新たに水道メーターを設置するなどした利用者が、口径に応じて負担するものです。             </td> <td></td> </tr> <tr> <td> <b>2 営業外収益</b> 1,443,012                 <b>(1) 長期前受金戻入</b> 1,247,557                償却資産の取得及び改良時に交付された補助金等の減価償却等に伴う収益化額を計上します。             </td> <td></td> </tr> <tr> <td> <b>3 特別利益</b> 15,285                過年度分水道料金等の修正益を計上します。             </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				【収入】	【支出】	<b>[1款：水道事業収益]</b> 33,743,673 <b>1 営業収益</b> 32,285,376 <b>(1) 給水収益</b> 29,490,490 水道料金収入です。 [参考] 水道料金収入の推移 (税抜) <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <tr><td>令和元年度決算額</td><td>26,798,808,987円</td></tr> <tr><td>令和2年度決算額</td><td>26,952,652,074円</td></tr> <tr><td>令和3年度決算額</td><td>27,105,390,356円</td></tr> <tr><td>令和4年度当初予算額</td><td>27,202,905,000円</td></tr> <tr><td>令和5年度当初予算額</td><td>26,809,537,000円</td></tr> </table>	令和元年度決算額	26,798,808,987円	令和2年度決算額	26,952,652,074円	令和3年度決算額	27,105,390,356円	令和4年度当初予算額	27,202,905,000円	令和5年度当初予算額	26,809,537,000円	<b>[1款：水道事業費用]</b> 29,392,148 <b>1 営業費用</b> 28,751,426 <b>(1) 水源費</b> 9,386,265 受水費 8,440,373 埼玉県からの受水に係る費用です。 <b>(2) 配給水費</b> 11,073,466 <b>ア 社会福祉就労支援事業</b> 12,446 検定有効期限を過ぎた水道メーターを再利用可能な部分と廃棄する部分とに分解する作業を授産施設に委託する事業です。 <b>イ 小中学校飲用水直結化推進事業</b> 208,645 蛇口から直接水を飲むという文化を継承するため、一部の給水方式を直結式に切り替える事業です。 <b>ウ 配給水管修繕事業</b> 1,436,220 迅速かつ円滑に漏水修繕を行うことにより、安定した水道水の供給を図る事業です。 <b>(3) 業務費</b> 2,436,355 計量事業(DX関連) 12,457 スマートメーターを試験的に導入します。 <b>(4) 総係費</b> 1,806,121 <b>ア 国際協力推進事業</b> 7,371 水道局で培った経験や技術力を海外で生かすため、ラオスへの技術支援を行う事業です。 [総振：01-3-1-04] <b>イ 震災対策事業</b> 76,028 災害時に迅速かつ円滑な応急給水、応急復旧ができるよう対策を講じ、また、職員訓練等を実施する事業です。 <b>ウ 水道局システム管理事業(DX関連)</b> 4,338 会計伝票の電子化を推進します。 <b>2 営業外費用</b> 619,009 <b>(1) 企業債利息</b> 615,154 企業債の利息の支払に係る費用です。	<b>(2) その他営業収益</b> 2,700,623 <b>ア 配給水管維持管理等負担金</b> 456,724 下水道などの他事業が地下埋設物を設置する際、支障となる水道管を移設させる場合等に受けるものです。 <b>イ 下水道使用料同時徴収事務負担金</b> 1,033,167 サービス向上のため実施している上下水道料金一括徴収の経費のうち、下水道使用料部分の負担金です。 <b>ウ 分担金</b> 1,111,759 新たに水道メーターを設置するなどした利用者が、口径に応じて負担するものです。		<b>2 営業外収益</b> 1,443,012 <b>(1) 長期前受金戻入</b> 1,247,557 償却資産の取得及び改良時に交付された補助金等の減価償却等に伴う収益化額を計上します。		<b>3 特別利益</b> 15,285 過年度分水道料金等の修正益を計上します。	
【収入】	【支出】																						
<b>[1款：水道事業収益]</b> 33,743,673 <b>1 営業収益</b> 32,285,376 <b>(1) 給水収益</b> 29,490,490 水道料金収入です。 [参考] 水道料金収入の推移 (税抜) <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <tr><td>令和元年度決算額</td><td>26,798,808,987円</td></tr> <tr><td>令和2年度決算額</td><td>26,952,652,074円</td></tr> <tr><td>令和3年度決算額</td><td>27,105,390,356円</td></tr> <tr><td>令和4年度当初予算額</td><td>27,202,905,000円</td></tr> <tr><td>令和5年度当初予算額</td><td>26,809,537,000円</td></tr> </table>	令和元年度決算額	26,798,808,987円	令和2年度決算額	26,952,652,074円	令和3年度決算額	27,105,390,356円	令和4年度当初予算額	27,202,905,000円	令和5年度当初予算額	26,809,537,000円	<b>[1款：水道事業費用]</b> 29,392,148 <b>1 営業費用</b> 28,751,426 <b>(1) 水源費</b> 9,386,265 受水費 8,440,373 埼玉県からの受水に係る費用です。 <b>(2) 配給水費</b> 11,073,466 <b>ア 社会福祉就労支援事業</b> 12,446 検定有効期限を過ぎた水道メーターを再利用可能な部分と廃棄する部分とに分解する作業を授産施設に委託する事業です。 <b>イ 小中学校飲用水直結化推進事業</b> 208,645 蛇口から直接水を飲むという文化を継承するため、一部の給水方式を直結式に切り替える事業です。 <b>ウ 配給水管修繕事業</b> 1,436,220 迅速かつ円滑に漏水修繕を行うことにより、安定した水道水の供給を図る事業です。 <b>(3) 業務費</b> 2,436,355 計量事業(DX関連) 12,457 スマートメーターを試験的に導入します。 <b>(4) 総係費</b> 1,806,121 <b>ア 国際協力推進事業</b> 7,371 水道局で培った経験や技術力を海外で生かすため、ラオスへの技術支援を行う事業です。 [総振：01-3-1-04] <b>イ 震災対策事業</b> 76,028 災害時に迅速かつ円滑な応急給水、応急復旧ができるよう対策を講じ、また、職員訓練等を実施する事業です。 <b>ウ 水道局システム管理事業(DX関連)</b> 4,338 会計伝票の電子化を推進します。 <b>2 営業外費用</b> 619,009 <b>(1) 企業債利息</b> 615,154 企業債の利息の支払に係る費用です。												
令和元年度決算額	26,798,808,987円																						
令和2年度決算額	26,952,652,074円																						
令和3年度決算額	27,105,390,356円																						
令和4年度当初予算額	27,202,905,000円																						
令和5年度当初予算額	26,809,537,000円																						
<b>(2) その他営業収益</b> 2,700,623 <b>ア 配給水管維持管理等負担金</b> 456,724 下水道などの他事業が地下埋設物を設置する際、支障となる水道管を移設させる場合等に受けるものです。 <b>イ 下水道使用料同時徴収事務負担金</b> 1,033,167 サービス向上のため実施している上下水道料金一括徴収の経費のうち、下水道使用料部分の負担金です。 <b>ウ 分担金</b> 1,111,759 新たに水道メーターを設置するなどした利用者が、口径に応じて負担するものです。																							
<b>2 営業外収益</b> 1,443,012 <b>(1) 長期前受金戻入</b> 1,247,557 償却資産の取得及び改良時に交付された補助金等の減価償却等に伴う収益化額を計上します。																							
<b>3 特別利益</b> 15,285 過年度分水道料金等の修正益を計上します。																							

(※ 職員人件費については、P. II-569に掲載しています。)

【収 入】		【支 出】	
[1款：資本的収入]	7,336,718	[1款：資本的支出]	22,125,167
1 企業債	6,618,000	1 建設改良費	17,732,302
水道施設の整備事業に係る企業債です。		(1) 施設整備費	15,755,035
		水道施設整備事業	14,288,046
			[総振：09-2-4-01]
2 負担金及び寄附金	558,078	<地下水源の整備>	11,950
開発事業者等の依頼に基づく水道管の布設に係る負担金等です。		地下水源の保全と有効活用を図るため、老朽化した深井戸の更新・改良を行う事業です。	
3 補助金	160,640	<拠点施設の整備>	373,911
生活基盤施設耐震化等交付金による県からの補助金です。		老朽化した自家発電設備等を更新する事業です。	
		<配水管の整備>	1,262,987
		漏水多発や出水不良の給水管の解消やバックアップ機能の強化を図るため、配水管を整備する事業です。	
		<老朽管の更新>	10,370,591
		漏水等の事故防止を図るため、老朽化した水道管を計画的に更新し、同時に管路の耐震化を図る事業です。	
		<耐震化の推進>	2,268,607
		震災での被害を最小限に抑えるため、浄・配水場施設等の耐震化を進める事業です。	
		(2) 設備改良費	1,977,267
		計量法により定期的に交換の必要な水道メーターの設置等に要する経費です。	
		ア 水道局システム管理事業（DX関連）	474
		会計伝票の電子化に伴い、水道業務端末等の増設を行います。	
		イ 計量事業（DX関連）	1,822
		スマートメーター実証実験において、スマートメーターから読み取った指針値を水道料金システムに取り込むための改修を行います。	
		2 償還金	4,392,865
		企業債の元金償還金に係る経費です。	
			[総振：52-2-2-01]